大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

夕刊

新京日日新聞

定價 一ケ月 金一圓八十錢 一部 金五錢
郵税 一ケ月 金三十錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話二三五・三〇〇〇番
發行人 河 本 忠 男
編輯人 松 本 十 二
印刷人 谷 啓 二 郎

浦鹽方面より避難の支那人
續々滿洲に引揚ぐ

【ハルビン十三日發國通】最近續々露領內より支那人が引揚げつゝあるが此等引揚支那人の大半は浦鹽西營柵嶋の勞働者である雜草の如く根强い彼等は官憲の壓迫と激務を甘受して露領內にふみ止つて居たが、近來のソ聯國內食糧の不足と、賃銀の低廉、その上に更に各種債券を强制的に買はさるので、遂に我慢し切れず、望みを捨てゝ浮草の如く滿洲に流れ込んで來たものである

公共事業に三十三億弗
米大統領來週議會に提出

【ワシントン十二日發國通】失業救濟法案インソレ法案、五億弗の失業救濟基金設定法案の署名を完了したル大統領は更に一大公共事業案の實現に乘り出す事となつた、目下大統領の手許で立案中の公共事業案は、今後二ケ年間に亘り三十三億弗に達する尨大なもので、來週早く議會に提出される事と成らう法案の要旨は

一、道路建設、河川修築、其の他土木事業
一、海軍新艦建造
一、貧民窟の淸掃作業
一、若し一般軍縮會議が失敗に歸した場合は大統領に對し、陸軍兵備改善並びに飛行機建造の權限を附與する事等である

滿洲國政府の一般歲出要求
總額二億二千萬圓

滿洲國政府各部大同二年度一般會計歲出要求額は總務廳主計處に提出されたが、總額二億一千七百八十八萬九千圓の巨額に達し、歲入豫算一億二千二百萬圓に對し、一・七七倍强に當り、各部局の積極的建設事業遂行方針に基く歲出豫算要求に對し、主計處が如何なる査定をなすかは各方面より注目されて居る、各部要求額左の如し　（單位千圓）

△執政府　經常部　一、一〇〇
△總務廳　同　三一、九三三
　臨時部　二一、六六九
　計　五三、六〇二
△興安總署　經常部　三、七五四
　臨時部　二三六
　計　三、九八〇
△民政部　經常部　三〇、四〇七
　臨時部　七、九六六
　計　三八、三七三
△外交部　經常部　一、〇六五
　臨時部　六〇
　計　一、一二五
△軍政部　經常部　六六、七九八
　臨時部　一三、〇〇五
　計　七九、八〇三
△財政部　經常部　一五、〇四〇
　臨時部　一、〇三五
　計　一六、〇七五
△實業部　經常部　三、九七九
　臨時部　三、二九五
　計　七、二七四
△交通部　經常部　三、四一三
　臨時部　二六八
　計　三、六八一
△司法部　經常部　九、六四三
　計　九、六四三
△文教部　經常部　一、九二〇
　臨時部　三三八
　計　二、二五八
經常部合計　一七〇、一〇五
臨時部合計　四七、七六四
總計　二一七、八六九

フランスは金輸禁止せず
マルテル大使言明

【東京十三日發國通】フランスが近く金輸出を禁止するとの風說が傳へられてゐるに關し、駐日フランス大使マルテル伯は十三日右の風說を公式に否定して左の如く言明した

フランス政府は未だ曾て金輸禁止の意見を有したことなく將來もその意なきものである、藏相も、議會も金輸禁止によつて佛貨を低落せしめるが如き手段には出ないであらう

張熱河警備司令官
新京發歸任

熱河警備司令張海鵬上將は十三日午後四時三十分發列車にて歸任した、此の日張將軍は十三日朝來より各方面に別辭を述べたが、午後四時十五分李外交處長其他衞兵隨員と共に新京驛着、橋本憲兵司令官多田少將、築紫、田邊各參議、工藤侍從武官、其他日滿要人多數の歡迎裡に同三十分新京出發、任地承德に向つたが、出發に際し將軍は語る

身に餘る大任で自分としては只全力を盡して滿洲國のため勤める決心だ、家族を連れて行くかどうか未だ決定して居ない

尙將軍は途中洮南に立寄り、一旦奉天に引返し飛行機にて承德に向ふ筈、尙警備司令部顧問として林憲兵大尉が同行赴任した

熱河經濟事情（一）
關東軍顧問　鈴木穆氏述

概論

國際聯盟が我が滿洲國の承認を取り消せと云ふ暴言を一蹴して九千萬同胞の氣持を深く胸に刻んで我が代表が聯盟會議の席を決然去つたのは二月二十四日でありました

我代表が國際聯盟會議の席を去りますと前後して關東軍の熱河討伐が始まりました、熱河は滿洲國の一部であることは既に建國宣言中にも明かにされてあります、熱河と奉天省及興安省の境界は山河の特に分割するものも無いのでありますから、萬一熱河が中華民國の手に殘るとしましたら新興滿洲國の國防線は非常に危險千萬なものであります、卽ち國防線確保の見地よりしても、熱河は滿洲國に入れる必要があるのであります、況や熱河を含む五省が滿洲國を形成することは御承知の五色聯合の國旗の色にも顯はれてゐる通りであります、此故に我々が滿洲國を承認し其保全を誓ひましたる以上は熱河內に惱居する反滿軍を掃蕩するのは我國の當然の義務であります

然るに從て皇軍の此擧に出んことを怖れてゐた反將湯玉麟及張學良一味の輩は、凡有る防備を嚴重にして我軍を邀ふる準備をし、反滿軍の數は拾參萬餘と稱せられたのであります

熱河は西北部及東部は稍々平坦なるも、東南部より西北部に亘りては山岳地帶であります、殊に朝陽より凌源を經て承德に至る地方は奇峰連立し羊腸たる山路は大軍の行動に便ならず、淚も凍る大陸の寒氣はどれだけ我が將卒を苦しめたのでありませうか

然るに我が關東軍が蹶然立つて熱河討伐に向つたのは奉天省の通遼を二月二十三日に出發し、翌二十四日は開魯を陷れ三月二日には熱河省の中心都市たる赤峰を占領したのであります、又他の一部隊は二月二十三日錦州を發して二十五日朝陽を陷れ、三月二日には凌源、三日は平泉、越へて四日には首都承德を占領し省城高く日章旗の飜るのを見たのであります、斯くして旬日を以て熱河は平定せられ、反滿軍は粉碎されました此の神速なる皇軍の行動、其の空前の勝利は　天皇の御稜威と、遮る雲斷して徹ると云ふ皇軍の忠勇無比の氣慨に因ることと深く感激します

我　大元帥陛下は特に勅語を下し賜つて、關東軍將士の勳を御嘉納あらせられましたことは、諸君の御承知の通りであります

怪人凱歌（二百十七）
（講上演 映畫化）須藤鐘一 （畫）瀧秋方

更生の人々（一）

波風荒き房州白濱海岸にも訪れて、瑞巖寺の山門の櫻は今や花ざかりである。遠く望めば一團の紅雲が寺門のあたりに搖曳してゐるやうだ。

白髯白眉の黑巖和尙は相變らず頑健で、今しもほうき片手に、靜々として萌え出る庭の雜草を拔いてゐるところ、そこへ飄然と現はれたのは久方ぶりの白濱岩雄であつた。

「和尙様、暫らく御無沙汰いたしました」といつて、丁寧に頭をさげた。

和尙は、ゆつくり振りかへつて
「ヤア、白濱君、まだ君は生きてゐたんか」と、なつかしさうに云つて、皺ぶかい顏に人の好い笑ひを浮べる。

「身體はたつしやで、あちこち駈けまはつて居りました」

「さうか、さうか、たつしやで何よりぢや」

和尙は立ち上つて、ほうきを杖についてうなづく。

「ところで、和尙様、又一つお願ひがあつてまゐりました。御迷惑でも、おきゝ下さいませんでせうか」

「ふん、そのお願ひといふのは何ぢや、どんな事ぢや？」

「實は若いものを二人、連れてまゐりましたのですが……」と云ひながら白濱が後を振りかへつた時石段を登つて來たのは、未だ頭部に繃帶をしてゐる松根欣哉と、ちよつと見には其の妻君のやうなお曾代との二人、キマリ惡さうにして、そろ〳〵と近づく。

「あの兩人は、少し厭がありまして、暫らく居所を晦ましておきたいものです。それで此寺で何かお手傳ひをさせておいていたゞきたいのですが……」

「ハッハヽヽ、君は相變らず世話好きぢやな。よくさういふ若いもの〻世話をするのは、然し感心ぢやよ。――いゝとも、當はんか ら座敷の掃除なり、洗濯なりをさせて、いつ迄もおいてあげよう」

「さうか、西國順禮をして歸るといつて此寺を出たきり、たよりがないが……？」

「あゝ、あの吉本喜美子でございますか。あの女の探してゐる男を僕が偶然見つけましたので、二人を逢はせてやらうと思ひまして、女を迎へに僕が此方へまゐりました時、もう女は順禮に發つた後でしたね」

「さう〳〵、さういふ事もあつたけな」

「實はあの女と、その探す男とは不義の仲なのです。それを僕が見つけましたので、兩人を懲らしてやる積りで、小舟に乘つてるのを沖に流してしまつたのです」

「さうか、隨分思ひ切つた事をやつたものだな」

「少し手きびし過ぎました。その時は二人の上に新しい運命を授けてやるとか何とか云つたものですが、不思議に二人とも命は助かりましたので、其の身のふりかたについて僕も責任を感じてゐる所で、して、いろ〳〵手を盡して探しました結果、順禮の女とは明瞭の大師でめぐりあひました」

「それはよかつた。……」て、二人を逢はせてやつたかね？」

老僧の締まりのない言葉に、欣哉もお曾代もほつとして、

「どうか何分よろしくお願ひいたします」

「どうぞよろしく……」と、初對面の挨拶をする。

それが濟むと、白濱は勝手知つた庫裡の方へ二人を案內して、座敷にくつろがせた。それから拭き掃除や食事の煮炊き、水汲みなどを手傳ふことにさせた。變つた土地の變つた宿りではあるが欣哉もお曾代も、二人一緒なので却て嬉しく、夕方になると櫻の花のはら〳〵と淡雪のやうに散りしく山門のあたりを逍遙するのだつた。

素巖和尙は、寺院の縁に腰かけて、白濱と一別以來の物語りにふけつてゐる。

「いつぞやの婦人はどうしたらう一夫と定めた人の生死が分ら

抗日救國會への反感強まり暴動化

（北平十三日發國通）引續く敗報と動搖に市民の抗日救國會に對する反感は次第に強まり、遂に暴動化するに到つた、十二日午後二時北平大學の正服を着けたる約百廿名の學生は、粉子胡　抗日救國會を襲擊し同會の看板をはづし、窓ガラスを破壞、居合せた會員の頭部を毆打重傷を負はせ喚聲を擧げ引揚げ、更に市黨部を襲擊せんとせる所に馳けつけた巡警隊の爲阻止され、大部分は逃走したが支那側ではこの種の暴動の頻發を懼れ、市中を嚴戒中である

抗日即刻放棄

人心極度に動搖して　北平商務會の決議

（北平十三日發國通）日軍飛行機の北平上空に飛來するさか、古北口方面の引續く敗戦に北平商務商會は十二日夜緊急委員會を開催し

一、抗日政策の即刻放棄

北平市民安全のため何應欽の退去を請ふ事

一、萬一の場合に處すべき商務總會の應急策

等を協議したが一部に敗殘兵の掠奪、暴行に關し支那側機關は全く無力なるを以て全市民のため面目を失せざる方法で日本軍に北平の治安維持を依託しては如何この極端なる軟論も出たが一先づ當分經過を見て改めて協議する事になり散會した

砲彈炸裂して　巡警の苦笑

（天津十三日發國通）十二日朝五時頃東單牌樓、羊溢胡同の有名なる俳優朱琴心宅内で砲彈殼炸裂、時節柄大騷ぎを演じたが取調べの結果右は同日北平警備隊が創發した砲彈が同家の庭に落下せるものなる事判明し巡警は苦笑して引揚げた

天津では早くも

防空ビラを配布

（天津十三日發國通）日軍飛行機北平來の際に驚き早晩天津にも見舞はれるものとして警備司令部はその對策を協議して居るが、民心を鎭める爲各所に野砲を据えつけて高射砲と偽り、又本日左の如き防空智識と題するビラを配布した

成る可く高い處、樹の上とか屋根の上に上り嚴重に敵機の來るを見張ること、敵の飛行機は兩翼と尾部に赤い日の丸あり、若し之を發見せば速かに電話にて報告し、蒸氣機關のある工場は直ちに警笛を鳴らし全市の消防隊は直ちに出動準備をすべし、若し敵機夜間襲來した時は電燈會社は直ちに一切の送電を停止すべし、民衆は室内の燈火を消し窓に黒布をかけ全部を暗黒にすべし

日軍の飛機襲擊に　無抵で抗開城

何應欽は退却して貰ふこと　脅ゆる北平の對策

（北平十三日發國通）日本軍飛行機襲擊に怖えた北平民間諸團体は氣早くも夫々會合を開き萬一についての對策を協議中なるが北平律師公會は十二日夜北平南長街織女橋會處に臨時大會を開き

一、北平市民の生命財産保證の唯一の策は無抵抗開城にあり、止むなくんば何應欽の當地退去を要求する

一、日本公使館、日本駐屯軍の司令官に今後の治安維持に關する協力を提議する事

の二項を決議した

東鐵は滿洲國で買收する方が得策

共同委員會の交渉は東京で　軍部側大體の意嚮

（東京十三日發國通）日滿蘇三國共同委員會設置に關する外務省の具体案は大体決定してゐるがこれに對し軍部側でも研究を進めつゝあり近日中に決定の上參謀本部の關係當局に於て研究が進められてゐたが買收に關する具体案が作成されたので名古屋地方に旅行中の眞崎參謀次長の歸京を待ち十五、六日頃

『蘇聯』側と折衝を開始する事になつたが同交渉の大綱は蘇聯側の希望もあり、駐日蘇聯大使、同滿洲國公使並に外務省との間に東京で行なはれ其結果細目の交渉は現地滿洲國でなはれる模樣である、東支鐵道買收問題については軍部の態度を決定し外務省に移牒する關係上陸軍では先づ參

『會議』を開き參謀本部の態度を決定、陸軍側に移牒される事になつたが同部に於ける意向は大体次の如し

一、蘇政府の東鐵讓渡はリトヴィノフ氏の聲明その他ソヴエート官憲の説明より見て蘇政府は同鐵道によつて惹起される日滿蘇の紛爭の根源を除去せんとする事が主なる目的であり蘇聯側の主旨は諒解してよい

一、買收價額については軍部並に滿鐵當局に於て大体調査して居るが更に現狀に基き評價を決定する

一、同鐵道は滿洲國の鐵道政策完成の曉はその價額は將來益々減損して行くのだから買收の時期については此點につき充分考慮を拂つて決定する

一、同鐵道の買收は滿鐵をして買收せしむるか滿洲國が買收するかについては將來の關係上滿洲國に於て買收する方が得策であると見られる

ユ蘇聯大使　内田外相訪問

買收決定をいそぐ

（東京十三日發國通）ユレネフ蘇聯大使は十三日午後内田外相を訪問した、右は東鐵讓渡問題で我政府の方針決定を至急要望したと觀測されるが蘇聯側が右問題の決定を急ぐのには左の理由が伏在することゝ明かとなつた

一、滿洲國成立及び同鐵道整理に依り東鐵は既に軍事的に經濟的にその價値を失ひ特に滿洲事變以來東鐵は赤字續きで、この上苦痛を忍んでまで、共同經營する事は意味をなさないことゝ

一、東鐵共同經營の繼續は日滿蘇不測の禍根を殘すのみである

一、財力ある日本に東鐵を讓渡するは將來の紛爭を防止するのみならず五ケ年計劃の遂行を容易にする

尙賣却代金受取法に就いては

一、東鐵收益金より年次拂、現金拂二、一部物資拂三、全部滿洲國政府のロシヤに對す〻借款の形式にするか何れの方法でも可なりとしてゐる、滿洲國へ賣却の場合、滿洲國は當然正式に承諾する事になるが、蘇聯側には聯盟の不承認決議が無關係なる故差支へない、むしろ蘇聯は滿洲國を承認する意向あることを表明したものであるといはれてゐる

皇軍いよく進出

我軍の追擊急！　石匣鎭西方高地一帶　西部隊全く占領

西部隊は追擊を續行し十三日夕刻中馬營東南方高地より石匣鎭西方高地に亘る線も確實に占領した、各部隊は敗敵を掃蕩し勇敢に前進したが殊に磯田少佐の指揮する砲兵隊は敵の機關銃の銃火をおかして石匣鎭東北地區の陣地に敗退する敵を追擊し多大の損傷を與へ砲三門を捕獲した、百武大尉の指揮する○○隊は白河間附近の敵陣地内に突入し縱橫に敵の陣地を蹂躙した、○○隊二台は敵の陣地内に進入し孤立狀態に陷つたが勇敢に砲擊し敵の敗退の原因をつくつた、なほ飛行機も上空より爆擊をもつて隨所に敵を爆擊した

山屯營を占領　阪本、服部兩部隊　ずんく前進中

坂本部隊も正面の敵に對し十三日夕刻新集鎭（興城鎭東南）大五里線に到達した、又服部々隊も山屯營を占領し依然さして前進を續行し各部隊協力の下に豐潤に向ひつゝある

リ氏の聲明に　支那ロシヤへ抗議

（上海十三日發國通）東鐵賣却交渉に關するリトヴィノフ氏の聲明書に對し南京政府は之を以て國際信義を解せざるものとして嚴重抗議することゝなりその旨駐露大使顔惠慶に電命した

日滿議定書　執政に捧呈

奧村領事補來京

外務省の奧村領事補は日滿議定書を執政に捧呈すべく十四日午前八時議定書を携へ來京明日執政府に伺候する豫定である

浦鹽のチフス　益々猖獗す

（ハルビン十三日發國通）ウラジオ附近のチフスは益々猖獗したゝめに收容所は滿員となり、已むなく學校の校舍を之に當て諸學校は殆ど休學の狀態である

國民運動協會

（東京十三日發國通）文部省は非常時教育に對し、曩に訓令並びに國民運動に關する通牒を發しこれが趣旨を徹底に努め且つその成果を收めしむる爲、これら國民運動が一時の宣傳に終らざる樣注意を促したのであるが、今回第一段の運動としてパンフレットの刊行非常時國民運動協會並びに後援會開催の計畫を實施することゝなり、十三日各地方長官宛通牒を發した

滿洲國の對ソ外交　愈よ積極的轉換か

大橋次長けふ急遽東上　時局柄重視さる

大橋外交部次長は十四日午前九時新京發で、突如東上の途に就いたが目下日滿の對ソビエート關係が微妙且つ最大な時機に置かれ、東支鐵紛爭解決、同買收問題、三國共同委員會設置、その他どの重要案件を控へて同次長の東上は重大使命を帶びるものとして最も注目されてゐるが、同次長の東上によつて對蘇關係今後の動きに大きな波動を與へ、これを契機として滿洲國の外交が積極的に轉換されるのではないかと時節柄重大視されてゐる

資源調査隊歸る

熱河の砂金　極めて有望　一ケ月振で歸京した　中村班長語る

熱河省内の北票、朝陽、凌源、平泉、承德、を結ぶ兵站線に沿ふて約一ケ月に亘り資源の調査に努めた關東軍特務部主催の熱河資源調査隊中村拓務技師を班長とする第三班は十一日歸京したが往訪の記者に中村技師は語る

吾々が調査した地域は砂金及石炭は非常に有望であるがソーダはあまり見當らなかつた、產金の採掘は

『冶金』をせねばならぬから第二段で先づ砂金の採取から始むべきだらう、現在は頗る原始的な水洗法により採取してゐるから含有量は何の位あるか直に之を以て判斷する事は雖いが、恐らく十萬台であらうと思ふ、兎に角鐵道を敷設するのが急務だその上で世界最新のトレジャー機を使用するトレジャー撰鑛法によれば充分產金營利會社を作つても利益を上げる事が出來るだらう、我々の班は

『匪賊』が相當橫行してゐるので兵站線より十キロ内外の處しか調査を行はなかつたがそんな近くでもなかく含有量は多い、現在は支那馬車が通ひ道も平坦である

『炭質』は撫順炭と略同樣であるが平泉を中心とした地點が最も有望である、石炭の方は目下封鎖炭田もある位だから急ぐ事もあるまい、又採掘して果して採算がとれるか否かは疑問だ何れにしても鐵道が引けなければちよつと手がつけられまい

探金調査隊

けふ新京に着　今夜ハルピンへ

（新京十四日發國通）準備萬端成つて愈々劃期的壯途についた武裝探金調査隊は十三日午後十一時鐵嶺驛を出發、本日午前六時新京驛に到着した

一行は東鐵線の連絡時間を利用し長春神社に參拜、新京市内見物の後同八時四十分發列車でハルピンに向ふ筈

日滿合辦通信　會社定款成る

委員詮衡方針も決定

（東京十三日發國通）拓務省では、午前十時半より日滿合辦通信會社設立準備委員詮衡と定款作製の協議會を開き左の方針を決定した

一、委員會は日滿夫々十五名とす

一、日本側委員は、大藏、遞信、外務、拓務、司法、陸、海軍の諸省と關東廳等の各課長より詮衡す

一、委員長には、滿鐵顧問山口中將を推擧す

一、委員會本部は新京に置くが、委員會は新京東京其の他で開催す

陸大旅行團　けふ午後入京

目下ハルピン御見學中の久邇侯爵をはじめ陸軍大學戰跡旅行團六十名は今井少將引率の下に十四日午後二時三十五分新京到着、南嶺、寛城子の戰跡視察の後十六日午後四時三十分新京發公主嶺に向ふ筈

人事往來

▲大橋忠一氏（滿洲國外交部次長）十四日午前九時發列車で日本へ赴く

▲染谷保藏氏（盛京時報社長兼本社代表）十四日朝來京吉林往復滿洲國旅館投宿

▲張海鵬上將十三日午後四時三十分熱河へ

▲林大尉（赤峰憲兵分隊長）十三日午後四時三十分熱河へ

▲今野二等軍醫正（ハルピン衛戍病院長）十三日午後二時五十分來京

▲小川少佐（線區司令部）十三日午後十時大連へ

▲小畑少將（參謀本部第三部長）十四日午前九時大連へ

▲小川市長（大連）十四日午前八時來京

▲奧村領事補（外務省）十四日午前八時來京

團體

▲新京泰仁實業團十四日午前九時南行

▲陸軍大學戰史旅行團六十五名十四日午後三時三十五分來京

▲全國女學校長團二百名十四日午前八時ハルピンへ

▲廣島商工會議所主催經濟視察團十六名十四日午後七時五十分來京

▲佐世保中學生四十二名十四日午後七時奉天へ

▲探金事業調査並一行百十名十四日午前六時四十分來京

けふから春祭り

新京神社の春季大祭はいよく十四日午後七時からの宵宮祭から始まるがあいにく十三日夜來の微雨の後をうけて怪しい空模樣であつたが午後きれいに晴れた十五日の本祭へかけすばらしい賑ひを呈することであらう祭典の式次は左の通り、又例年の通り神賑の花火、擊劍、相撲、大弓が參詣者の足を止め一段の殷賑を來たさう

宵宮祭

十四日午後七時一同祓所へ參列

祓式＝殿內へ參進＝祭儀開始を申す＝奏樂＝開扉＝獻饌＝祝詞奏上＝玉串奉奠＝奏樂＝撤饌＝閉扉(內陣のみ)祭儀終了を申す＝退場＝直會

この間所要時間約三十五分

大祭

十五日午前九時五十分一同參集＝午前十時幣帛供進使齋館社務所を出て祓所へ參進供進使以下隨員手水行事あり祓式＝殿內へ參進＝祭儀開始を申す＝奏樂＝扉＝獻饌＝宮司祝詞奏上＝奏樂＝幣帛供進＝供進使祝詞奏上＝供進使玉串奉奠＝(隨員列拜)＝宮司玉串奉奠(神職列拜)參列員總次＝玉串奉奠＝撤饌＝閉扉(內外陣とも御簾のみ)祭儀終了を申す退場＝直會

この間約五十分で引續き午後九時一同參列閉扉祭を執行祓式＝獻饌祝詞奏上＝玉串奉奠＝閉扉＝退出＝直會

あすは何うやら……
嬉しいお天氣?
いよく本祭へかけて
一段に賑はう

秩父屋方　中村恒芳
同錦町四丁目陸官四號　佐々木到一方　下島儀貞
同同二七號　谷本勇

滿鮮脚戲大會

〔安東發〕在安朝鮮人有志主催の滿鮮脚戲大會は五月晴れの好天に惠まれ六道溝運動場で十二日華々しく初日の蓋を開けたが觀衆一萬五千に達し土俵上の肉彈戰で一勝負毎に歡聲あがり非常に盛況であつたが、十三、十四と引續き行ひ十四日は優勝戰で一等賞は牛一頭と云ふ變つた趣向である、尙ほ同會場橫手に設けられたブランコ競技場は多數の朝鮮乙女の潑剌たる姿態を青空に浮かばせ嬌聲盛に院き盛會であつた

蠻勇を振ふ
警官の醉拂ひ
二人とも懲戒免職

〔安東發〕仄聞する處に依れば新義州署勤務巡査藤井九州男(二五)同塚崎金太郞(二五)の兩名は九日の非番に之れも同じく新義州署勤務大畑元(二六)巡査の家に遊びに行き午後十一時頃三人連れ立つて同家を出で平安神社前夜祭の事とて千成食堂に赴き十日午前一時頃迄六圓余を飮酒し更にカフエーグリーンに行き三時頃迄飮み同家を出で

『府內』　榮町七丁目カフエーモンパリーに行つたがモンパリーでは既に營業時間から過ぎたので表を閉ざして寢に就いた後であつたので藤井、塚崎の兩名は所持せるステツキで表戶を打破りホール內に亂入し椅子、テーブル等を振りかぶり裝飾品器具等を打壞し就寢中の女給等を追かけ廻した揚句見物人を追つて揚市通りを驛前廻りまで行き藤井は猿又一枚の醜態で

『守備』　正門に至り立哨中の一等兵楠木寅一に對し散々暴言を吐きかけ、果ては衛兵詰所に亂入し一等兵宮野直敏の頭をステツキで強打し昏倒せしめ机の上のインキを投げるやら種々備品を投げ散らし狼藉の限りを働き衛兵詰所に居た兵士達は昏倒せる宮野一等兵を助け衛戍病院に運ぶ一方藤井を取押へ急報に依り馳け付けた某巡査部長以下三名の巡査が週番士官井川少尉に

『懇願』　して藤井の身柄を引取り引揚げ、塚崎外一名も本署に連行引致した、其の後新義州憲兵隊では長友憲兵分隊長が新義州署より右三名の身柄を憲兵分隊に引取り嚴重取調べ中であるが、消當局では十一日午後七時より道會議室に土師知事懲戒委員長となり懲戒委員會を開き、藤井九州男巡査、塚崎金太郞巡査を懲戒免職、大畑元巡査は減俸月給の百分之一に處した、尙は

『大畑』　巡査は他の二名が暴行を働くのでモンパリーからこつそり歸宅し守備隊には居合さなかつたものである

まだつかぬ
謎の死の結末
けふ倉田司法主任
二階堂博士を奉天に訪ふ

市內三笠町一丁目吉田屋旅館投宿中突然行方を晦し謎の死を遂げた文部省屬官小菅豐治郞氏の死は自殺か他殺か未だ確定することが出來ないが死の現場の事情から推して自殺がもつとも濃厚となり且つ確定的で所轄新京署司法係でも自殺の認定を下してゐる模樣であるが十二日午後四時三十分倉田司法主任は新京發列車で奉天に行き目下鑑定中にある奉天醫大二階堂博士と協議することろがあつた、同博士の法醫學による自殺、他殺の反證が現はれないため引續き鑑定を續けてゐる

支那語研究會
中等學校から

滿鐵では時節柄最近著しく激增した新京邦人に支那語の普及をはかる爲種々の方法を講じてこれの研究を續けてゐるがまづその第一歩を中等學校より踏み出すべく來る廿四日新京商業學校に於て沿線各中等學校の支那語硏究會を開催する事となつたが既に各地からの申込が殺到してゐる

怪しい婦人
吳服物を騙取
領事館警察署員と稱して
近藤商店引掛かる

十三日午後二時ごろ市內吉野町一丁目大番地近藤吳服店へ三十歲前後內地人婦人が訪れ自分は領事館警察署に勤務してゐる八島ですと稱し銘仙一反十圓五十圓、ツムギ十一圓を持ち代金は宅の方に取りに來て吳れと立ち去つたその態度に不審の點があつたゝめ店員をして八島を調査したが領事館警察署官舍にはなく詐欺にかゝつたことを知り直に新京署に屆出た

新聞通信關係者を招待就任披露宴を張つたが宴酣なる頃藤井局長の挨拶があり、之に對し滿洲國交通總長丁鑑修氏來賓を代表して謝辭を述べ次いで歡談七時半頃散會した

騎兵隊發着
時刻變更

熱河方面から來て哈爾賓方面へ行く騎兵隊は輸送列車の都合で十四日午後四時三十七分着が十時着に變更、從つて出發時刻も順延十五日午前六時となつた旨兵站司令部から電話があつたから迎送者は注意されたい

ボート卸し
けふ西公園で
直ちに一般に開放

西公園潭月池のボート卸の式は十四日の日曜日恒例により荒木地方事務所長始め各係長及び招待された新聞通信關係者參列午前十一時、新京神社から井上神官を聘し祓式を行ひ、終つて冷酒スルメの祝宴を開き荒木所長以下の試乘があつて式を閉ぢ、正午を期して、一般に開放貸出したが日曜日ではありボート初乘りを目指して押寄せた彼女彼氏等で非常な賑ひを呈したがこれから今年の夏中は新京人士數少なき娛樂の一つとしてさかんに利用されることであらう

同老松町二丁目五　松本昌三
日滿產業共榮組合　多田俊一
同室町二丁目二一　鷲原方　橫田三次郞
同曙町三丁目二四　松本浩輔
同東五條通一六　安田之則
同吉野町四丁目七ノ六　天合旅館內　內川茂
同吉野町二丁目

徵兵檢查出願者
行方不明で當局百方搜查

新京署管內本年度在滿地徵兵檢查出願者は三百三十二名にして他管內に住所を異動したるもの十一名、他管より來住したるもの十九名、內地に於て受檢の爲め取消したるもの八名、死亡一名あり左の九名は所在不明の爲め通達書を交付する能はず、同署兵事係では目下搜查中である

新京祝町二丁目二四　井上正光方

陣中美談（九）
斃れて後已む
軍人精神の精華

歩兵第四十五聯隊第九中隊
陸軍歩兵上等兵　齋藤貞雄

齋藤上等兵は熱河討伐に當り快速部隊に加はり輕機關銃手として常に精勵他の模範たりし二月二十四日凸塔子及大田公司の戰鬪に於ては敵彈雨飛の中毅然として勇敢に率先々頭に在りて活躍し有效なる輕機關銃射擊に依り敵に多大の損害を與へたり、殊に三月二十二日蕭家營子東南方高地の敵を攻擊するに方りては險峻なる高地を勇躍攀登し敵の十字火を浴びつゝ平然として射擊を續行し步兵の突擊を容易ならしめつゝありしが偶々敵の一彈は其頭部に命中せるも依然射擊姿勢を保ちつゝ銃を握りしめあり、小隊長は射彈の出でざるに不審を抱き近寄り見しに始めて即死しあるを發見し後方に搬送せり

如斯實に忠勇義烈責任觀念旺盛にして斃れて後已む、軍人精神の精華にして實に軍人の龜鑑なり(鹿兒島縣出水郡大川內村下大川內下中野五二番地)

十字火中に鬼神の如く
負傷者を運ぶ傳令兵

歩兵第四十五聯隊第九中隊
陸軍歩兵上等兵　尾辻正

尾辻上等兵は平素より勤勉溫厚の模範兵なり三月廿二日聯隊蕭家營子南方高地攻擊に第九中隊第一小隊長傳令兵として勇躍同高地攻擊に參加し山頂稜線に於て敵の十字火を豪り小隊死傷續出するや鬼神の如く奮ひ立ち彈雨を物ともせず第一線を馳驅して負傷兵を擔ぎては稜線下に下り之に繃帶し更に負傷兵を運搬し殆んど一名にて小隊の死傷者全部の處置をなし、尙日章旗を振りて後方より高地を目指し前進する中隊主力、大隊主力と絕へず連絡して餘す所なし實に同上等兵の如き彈雨の下戰鬪慘烈の極所に立ちて傳令兵勤務を完全に果せるは榮の模範とするに足る(鹿兒島縣川邊郡加世田町津貫九六番戶)

旺盛なる責任觀念

歩兵第四十五聯隊第九中隊
陸軍歩兵伍長　松元金榮

松元伍長は中隊指揮機關要員として常に勞苦を厭はず積極献身的に活躍し竭遼より快速部隊として出發し二月二十四日凸塔子及太田公司附近の戰鬪に於ては敵彈雨飛の中を馳驅し中小隊間の連絡に從事し中隊長の意圖の如く戰鬪を遂行するを得せしめつゝありしが偶々大田公司に於て敵兵約八百の夜襲を受けたる際は敵の手榴彈の爲に足部に負傷するに至れり、然れ共責任觀念旺盛なる伍長は軍醫の治療を受くるや再び戰線に在りて活躍を續け爾來負傷と凍傷との疼痛に堪へつゝ一ケ月餘の困難なる行動諸勤務に服しつゝ行動を續け三月二十二日蕭家營子南方高地攻擊に於ては險峻なる高地を攻擊するに方りても能く困苦缺乏に堪へ率先難局に立ち敵の十字火を冒しつゝ中小隊の連絡に努め其職責を全ふせり、此の勇敢にして責任觀念の旺盛なる行動は實に武人の龜鑑、軍人精神の精華にして推賞するに足る、(鹿兒島縣揖宿郡指宿村西方二四〇一番地)

報國號其他の
獻納兵器命名式
日比谷で盛大に擧行

〔東京十三日發國通〕滿洲、上海兩事件突發以來陸海軍への獻金は、當局の驚く程多數にのぼり、海軍の方でも既に飛行機二十五臺、裝甲自動車一臺獻納命名を了したが、十三日午後二時から日比谷公園で、其後獻納の報國號各機、裝甲自動車、探照燈、機關銃、防彈衣、鐵兜、マスク等の命名式が盛大に行はれた式場には、精銳を誇る獻納兵器の前に祭壇が設けられ、大角海相以下海軍將星を始め朝野の名士參列盛大な命名式をげつた

藤井遞信局長
就任披露宴

關東廳遞信局長藤井崇治氏は十三日午後六時から新京ヤマトホテルに日滿各界代表及び

愛國號には
第二世を製作
獻納者の赤誠を記念

〔東京十三日發國通〕全國民熱誠の結晶として生れ出た軍用機愛國號は既に完成した分だけでも八十五臺に達したので、陸軍ではその保存方法につき航空本部と協議の結果他日愛國號が戰沒又は命數つきて第一線から退く場合には直ちに陸軍の費用を以て更に愛國號の第二世、第三世等の代機を製作永遠に我空軍の金字塔として獻納者の赤誠を紀念することゝなつた

二A對一で
明大勝つ
對慶應野球戰

〔東京十三日發國通〕慶應對明大野球戰は十三日午後三時半より慶應先攻にて開始されたが結局二A對一で明治の勝となつた、閉戰四時四十分

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
慶應	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
明治	1	0	0	1	0	0	0	0	A	2

△バツテリー
慶應塚越、三宅―小川
明治折井、八十川―二木

公會堂地鎭祭

當地公會堂建設期成會では來る十六日午前十時より公學堂新築工事現場にて地鎭祭を執行するが多數在住人士の參列を望むと

四平街便り
國都建設座談會

國務院國都建設局藤森氏來四、二日午後一時より大同電氣株式會社樓上にて當市各機關代表並に知名士出席國都建設座談會を開催、山岸地方事務所長の挨拶に次いで藤森氏の國都大新京の建設に就いて說明あり座談會に移り三時半散會

春季淸潔法施行

四平街警察署管內の春季淸潔法施行區域日割並に檢査明日は左の通りである(括弧內は檢査日)

施行明日△自二十日至二十六日(二十八日)施行區域、中央大街南側一圓、沿線附屬地一圓
△自二十一日至二十七日(二十九日)中央大街北側以北公順街南側一圓
△自二十二日至二十八日(三十日)公順街北側一圓
△自二十三日至二十九日(三十一日)鐵道東一圓

日本新聞協會大會
八月上旬大連で

東久邇宮殿下を總裁に推戴する日本新聞協會の第二十一回大會は八月初旬大連に於て開催される事に決定、出席者は同會長淸浦奎吾伯爵、理事長日本電報通信社々長光永星郞氏以下全日本言論會の權威三百名に全滿各地の代表約百名參加する筈で大會終了後、二班に分れ全滿各地を視察し八月末歸國の豫定である

田中分遣隊長着任

(四平街支局發)新任四平街憲兵分遣隊長田中恒男氏は十日午後三時五十九分着の二十一列車にて家族同伴着任さる

名映畫『酒場の母』
いよく十五日長春座上場

十五、六の兩夜長春座で催される映畫の夕は新京高級映畫協會の主催、新京體育聯盟の後援、滿洲社會係新京日報および本社の賛助で獨米兩大映畫の競映であり双方ともオールトーキーであるのが興味を惹き人氣をあつめてゐる一つは酒場の母といふ淚の映畫、一つは戰ふ隊商と題する悲慘な映畫炎熱の砂漠猛獸毒蛇、兇惡なインデアンと戰ひつゝ行く一大隊商の群その困害を描いたもの、入場料は體育聯盟で發賣した前賣券を利用すれば金八十錢である

五月十五日　火曜　壬午　先勝　除　室宿
舊四月廿二日

●一白の人　退氣にして何事も兎角損耗の生じやすき日　巳と辛と丑が吉
●二黑の人　運氣佳ならず常業を大切に守るが安全の日　乙と丁と丑が吉
●三碧の人　引込み思案せず敏捷に活動すれば效果あり　壬と子と癸が吉
●四綠の人　表面は運氣良好の樣なれど迷多く失敗あり　申は壬と癸が吉
●五黃の人　諸事長者に隨ひ忠實なれば障なく進捗せん　酉と亥と辰が吉
●六白の人　忠直を表看板として精勵すれば實効を見る　乙と丙と申が吉
●七赤の人　投機心を起さずこれ迄の業を確く守るが吉　甲と丁と寅が吉
●八白の人　輕進する時は意外の失敗に出逢ふことあり　乙　酉と戌が吉
●九紫の人　奮鬪努力する時は大抵の難事も通達すべし　巳と丁と亥が吉

不孝榮厚罪弗自殞禍延
顯妣伊爾根覺羅母布勒賀啓氏太夫人慟於大同二年四月二十八日即陽曆癸酉年四月初四日酉時壽終平寓內寢距生於咸豐戊午年六月十五日卯時享壽七十有六謹以陽曆五月廿八日在新京西四馬路般若寺設幕唪經二十日唪經領弔頻年離索親朋遷從無定恐訃未周謹登報端以
聞　鼎惠概不敢領　孤哀子榮厚泣血稽顙

ラヂオ欄
五月十五日(月曜日)放送
番組新京放送局

新京四、〇〇レコード錢行金銀相場商業信社
新京四、三〇演藝
新京五、〇〇講演滿洲婦女之責任新京公學校教諭劉桂潤
新京五、三〇ニユース(滿洲語)
東京六、〇〇ニユース東京中央放送局編輯
新京六、三〇演藝又は講演
新京七、〇〇ニユース(英語)
新京七、一〇ニユース(露西亞語)
新京七、二〇ニユース(朝鮮語)
新京七、三〇ニユース氣象豫報、放送局編輯及プログラムの豫告
新京八、〇〇演藝
東京八、三〇時報
東京八、三一ニユース東京中央放送局編輯

十六日放送

奉天四、〇〇レコード錢行金銀相場商業通信社
新京四、三〇演藝
新京五、〇〇時事解說
新京五、三〇ニユース(滿洲語)
東京六、〇〇ニユース東京中央放送局編輯
新京六、二〇演藝又は講演
新京七、〇〇ニユース(英語)
新京七、一〇ニユース(露西亞語)
新京七、二〇ニユース(朝鮮語)
新京七、三〇ニユース氣象豫報、放送局編輯及プログラムの豫告
新京八、〇〇演藝
東京八、三〇時報
東京八、三一ニユース東京中央放送局編輯

あすはお天氣
但し一時曇

▲明日の天氣豫報　北西の風晴一時曇
▲けふの氣候溫　最高十八度五　最低十二度五

大祭臨時休刊

十五日は新京神社春季大祭につき恒例により十六日附朝夕刊を休みますから御諒承願ひます

幕末異聞

愛慾火箭（五十五）

作 瀧川駿
畫 村瀨洗舟

反魂香（八）

『山窩の掟を破つたからは、首領も其の儘ぢや置きますまい』

澱んだ聲で、お君は斯う言ふと、唾を呑んだ。

『皆達者で暮しなよ』

『……』

『最後にお願ひがある——。四郎樣に逢つた時、お君は死んでも魂は貴方のお側を離れません。とさう言つて居たと傳へてお呉れよ。そして思ひ出した時は、この繪像に香の一本なりとも手向けて下さい。と、ね』

此處まで言つて來たお君は、堪へ兼ねて、其の場にわッと泣き崩れてしまつた。

『姐御、山窩の者に氣付かれたら……』

斯う利八に、注意されてお君は、はつとした。久三も涙を一杯眼に浮べて泣いてゐた。

『姐御、心配しなさるな。姐御の心持は乾度、與一樣にお傳へ申します』

『えゝ有難う。さうして居る間に、山窩の者が歸つて來る、さ、早く、早く』

お君は三人を急き立てゝ旅の支度をさせた。

『裏の藪蔭の道を右へ取つて、丹波山の裾を左へ入つて廊郎山を越えると有馬へ出る。それが一番安全だよ』

お君は草鞋を穿いてゐる三人に最後の別れと、注意を與へた。

『ぢや姐御』

『……』

四人の瞳は、たゞ涙。

やがて三人の姿が今岩角へ隱れやうとした時、背後から寸駒の聲がした。

『姐御』

『えッ』

驚きの聲に、お君の顔色は、颯と變つた。

默つた儘、寸駒はその傍へどつかり腰を下した。

『姐御、お前さん山窩の掟を知つてゐなさるかい?』

『山窩から逃げても逃がしても、[illegible]の出へ、吊し干しだ』

『……』

『今の事を知つてゐるのは、俺一人だ。魚心あれば水心と、昔から諺にもある通りだ』

寸駒は斯う言つて、お君を脅しながら、じわり〳〵と口說きはじめた。

お君は此の場合、返事をする言葉は無かつた。そして心の中で、皆無事で遁れて呉れゝばいゝに、と祈つてゐた。

『姐御、いやさお君さん。何とか返事をしねえ。俺いらの言ふ事を肯くか、それとも吊るし干しになるか』

斯う言ひながらにじり寄つた寸駒は、お君の手を握つた。

『何をするんだい?』

怒りを含んだお君の聲は、洞窟に、響き渡つた。

誰れかゞ入つて來た氣配、寸駒は慌てゝ、蠟燭の灯をふつと吹き消した。

『灯をつけぬか?』

戸外から入つて來た男は、斯う言つた。その聲は四郎太に相違なかつた。

この時傴僂の源次が、傴僂が延びるかと思ふ程慌てゝ駈け込んで來た。

『首領、親分が纖擬傳ひに逃げて行くのを、辰の野郎が見附けて今追つかけました』

『えッ』

驚きの聲を、闇の中から四郎太も寸駒もお君も、三人三樣の思ひで放つた。

闇の中からはた〳〵と飛び出す足音がした。それはお君だつた。

四郎太も寸駒も源次も、明るみの戸外へ出た。向ふへお君が遁れて行く。四郎太の顔は怒りの爲に、見惧く歪んだ。源次は、手早く其の傍に落ちてゐた切石を拾ふと、投げつけた。

『あつ!』

同時に、三人の口から驚きの聲……。

五月十五日 月曜 舊四月廿一日 辛巳 赤口 建 危宿

●一白の人 廻り來れる幸運を逸せざる樣努力あるべし 丙と亥と丑が吉
●二黒の人 蹉跌を生じ易き日故成るべく内を守るべし 丁と辛と丑が吉
●三碧の人 迷雲眼前に横りて行く手の定まらざる如し 甲と申と亥が吉
●四緑の人 氣心に落付きを生じ來る日急がば廻るべし 甲と乙と申が吉
●五黄の人 行違ひの起り易き日何事も手控するが安全 丁と庚と艮が吉
●六白の人 其の位置に安んじ常事を怠らぬ樣勵むべし 乙と辛と寅が吉
●七赤の人 小を得て大を失ひ易し進むより守るが無事 甲と庚と癸が吉
●八白の人 知つた振して不慣の事を持込れ難儀する日 丙と辛と丑が吉
●九紫の人 張合ひよく事業の進み行く日但し飲食注意 己と庚と亥が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行 ×印ハ一等船客御斷り 門司不寄港 （午前十時大連出帆）

船名	出帆日
うらる丸	五月十六日
はるびん丸	五月十八日
×たこま丸	五月十九日
香港丸	五月二十日
うすりい丸	五月廿二日
ばいかる丸	五月廿四日
亞米利加丸	五月廿六日

●切符發賣所 滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビユーロー案内所

鮮車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃二割引通用期間三ケ月）

●專屬荷扱所 各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社 大連支店 電話四一三十番
奉天出張所 電話四〇八九番
新京出張所 電話二三二六番